

2019年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 スミダコーポレーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6817 URL http://www.sumida.com
 代表者 (役職名) 代表執行役CEO (氏名) 八幡 滋行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役CFO (氏名) 本多 慶行 TEL 03-6758-2471
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年8月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	46,371	△0.4	1,124	△35.3	445	△63.6	54	△92.9	118	△83.1	△785	—
2018年12月期第2四半期	46,540	7.3	1,738	△48.0	1,223	△59.3	765	△65.1	703	△66.6	△139	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	4.39	4.37
2018年12月期第2四半期	26.32	25.87

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	96,084	33,616	32,112	33.4	1,183.65
2018年12月期	94,277	35,438	33,829	35.9	1,250.01

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	6.00	6.00	6.00	9.00	27.00
2019年12月期	6.00	6.00	6.00	6.00	24.00
2019年12月期（予想）	6.00	6.00	6.00	6.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	△5.7	2,200	△59.1	900	△77.8	500	△79.3	18.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期2Q	27,444,317株	2018年12月期	27,444,317株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	314,327株	2018年12月期	381,239株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期2Q	27,107,656株	2018年12月期2Q	26,733,103株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料は、当社の評価を行うための参考資料となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。

当資料に掲載されている予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時点における一定の前提に基づくものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会の開催）

当社は、2019年8月1日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業の前提に関する注記	12
(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(重要な会計方針)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

世界経済は米中の貿易摩擦や英国の欧州連合（EU）離脱といったリスク要因を抱え、不透明感が強まっています。

米国の景気の基調は底堅いにもかかわらず、貿易戦争の激化、トランプ大統領の「予測不可能性」が米国経済にも警戒感を高め、政策当局から利下げ論が相次いでいます。欧州を牽引するドイツは中国への自動車や機械輸出に昨年後半から急ブレーキがかかり、成長が鈍化し、また、英国のEU離脱問題も経済的混乱を懸念されます。中国は米国の関税引き上げが経済にもたらす下振れ圧力に対処するため、内需の拡大余地を發揮させるための政策見直し、内需のてこ入れを行いました。

電子部品業界は世界のスマートフォン出荷台数は減少に転じ、今後も市場の大きな拡大や部品点数の大幅な増加は見込みづらい状況です。車載関連は各国の環境規制の追い風もあり、特にEV市場はその勢いを増しているものの、新燃料試験「WLTP」の影響で新車販売の冴えない展開が続く欧州、経済の減速や米中貿易摩擦の長期化が購買意欲に影響し、自動車販売台数が低迷する中国では月次で昨年からの2桁減が続いています。また、比較的堅調であった米国市場にも景気減速感が出てきています。

こうした中、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は以下のとおりとなりました。

売上収益については、スマートフォン関連向け家電製品関連が堅調に推移したものの、車載関連が弱含みで推移したこと等から、前年同四半期横這いの46,371百万円となりました。銅価格が前年同四半期と比べて低水準で推移したことや円高/人民元安の影響等があったものの、受注の伸び悩みに伴う工場稼働率の低下、プロダクトミックスの影響で、営業利益は同35.3%減の1,124百万円となりました。為替や支払金利等の影響から金融収益/金融費用の純額が678百万円のマイナスとなったこともあり、税引前四半期利益は同63.6%減の445百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同83.1%減の118百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、資本およびキャッシュ・フローの状況に関する分析)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は96,084百万円となり、前連結会計年度末比1,807百万円増加しました。現金及び現金同等物等が増加したものの、営業債権及びその他の債権、棚卸資産等が減少したため、流動資産は1,011百万円減少しました。また、有形固定資産、のれん、繰延税金資産等の減少があったものの、オペレーティング・リースの資産計上（IFRS第16号「リース」）により、非流動資産は2,818百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は62,467百万円となり、前連結会計年度末比3,628百万円増加しました。有利子負債残高は、前連結会計年度末に比べ4,268百万円増加（短期有利子負債は前連結会計年度末比1,232百万円増、1年内返済予定又は償還予定の長期有利子負債は同730百万円減、長期有利子負債は同3,766百万円増）しました。営業債務及びその他の債務が減少したことなどから、流動負債が149百万円減少しました。長期借入金の増加、オペレーティング・リースの負債計上（IFRS第16号「リース」）などから非流動負債が3,778百万円増加しました。

なお、中期経営計画ステージⅢ（2018年～2021年）における指標として「ネットDEレシオ：1.0を維持」につきましては、当第2四半期連結会計期間末のネットDEレシオは前連結会計年度末の1.05から1.09となりました。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は前連結会計年度末比1,821百万円減少し、33,616百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益が118百万円であったものの、配当金の支払等があったためです。その結果、親会社の所有者に帰属する持分合計は32,112百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の35.9%から当第2四半期連結会計期間末33.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末比1,077百万円増加し、5,175百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4,483百万円（前第2四半期連結累計期間は2,527百万円の収入）となりました。利息の支払額579百万円、法人所得税の支払額326百万円等の支出があったものの、税引前四半期利益445百万円、減価償却費及び償却費2,599百万円等の収入があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は3,571百万円（前第2四半期連結累計期間は10,243百万円の支出）となりました。継続的に行っている設備投資で、有形固定資産の取得による支出3,248百万円、無形資産の取得による支出428百万円等の支出があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた収入は297百万円（前第2四半期連結累計期間は7,055百万円の収入）となりました。配当金の支払405百万円等の支出があったものの、有利子負債が1,276百万円純増したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想につきましては、今上半期実績と最近の事業環境を踏まえ、2019年7月31日に開示した『通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ』で以下のとおり修正しております。

（単位：百万円）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益（円）
前回発表予想（A）	101,400	6,200	5,070	3,540	130.81
今回修正予想（B）	92,000	2,200	900	500	18.43
増減額（B－A）	△9,400	△4,000	△4,170	△3,040	
増減率（％）	△9.3%	△64.5%	△82.2%	△85.9%	
（参考）前期連結実績 （2018年12月期）	97,538	5,383	4,061	2,420	90.24

【業績の予想に関する留意事項】

業績予想は、当社及び当社グループが決算発表日現在における将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものです。従って、今後の事業運営や内外の経済環境の変化、為替レートの変動等様々な要素により、実際の業績が記載の予想数字と異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,098	5,175
営業債権及びその他の債権	19,102	17,905
棚卸資産	18,983	17,660
その他の流動資産	4,109	4,539
流動資産合計	46,292	45,281
非流動資産		
有形固定資産	33,754	33,141
使用権資産	—	4,117
のれん	4,266	4,164
無形資産	6,183	5,980
金融資産	1,075	1,088
繰延税金資産	2,225	1,899
その他の非流動資産	477	410
非流動資産合計	47,984	50,802
資産合計	94,277	96,084

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	10,392	9,574
短期有利子負債	9,350	10,582
1年内返済予定又は償還予定の 長期有利子負債	6,190	5,460
引当金	37	83
未払法人所得税	343	322
未払費用	2,669	2,262
その他の流動負債	1,171	1,720
流動負債合計	30,155	30,006
非流動負債		
長期有利子負債	24,666	28,433
退職給付に係る負債	1,417	1,373
引当金	18	18
繰延税金負債	1,369	1,376
その他の非流動負債	1,210	1,259
非流動負債合計	28,682	32,461
負債合計	58,838	62,467
資本		
資本金	10,150	10,150
資本剰余金	9,898	9,898
その他資本性金融商品	5,000	5,000
利益剰余金	12,385	11,312
新株予約権	180	196
自己株式	△792	△653
その他の包括利益累計額	△2,992	△3,792
親会社の所有者に帰属する 持分合計	33,829	32,112
非支配持分	1,609	1,504
資本合計	35,438	33,616
負債及び資本合計	94,277	96,084

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上収益	46,540	46,371
売上原価	△39,687	△40,442
売上総利益	6,853	5,928
販売費及び一般管理費	△5,092	△4,844
その他の営業収益	47	61
その他の営業費用	△69	△21
営業利益	1,738	1,124
金融収益	40	14
金融費用	△555	△692
税引前四半期利益	1,223	445
法人所得税費用	△458	△391
四半期利益	765	54
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	703	118
非支配持分	62	△64

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	26.32	4.39
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	25.87	4.37

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	765	54
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△24	△0
確定給付制度の再測定	22	12
純損益に振替えられることのない項目合計	△2	12
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	27	△97
在外営業活動体の換算差額	△930	△755
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	△903	△852
その他の包括利益合計(税引後)	△905	△839
四半期包括利益合計	△139	△785
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	△152	△680
非支配持分	13	△104

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	新株予約権	自己株式
2018年1月1日時点の残高	10,150	9,898	11,376	270	△1,526
会計方針の変更			347		
修正再表示後の残高	10,150	9,898	11,723	270	△1,526
四半期利益			703		
その他の包括利益					
四半期包括利益合計	—	—	703	—	—
配当金			△881		
自己株式の取得					△0
自己株式の処分		△78		△32	111
自己株式処分差損の振替		78	△78		
株式に基づく報酬取引				65	
所有者との取引額合計	—	—	△960	33	110
2018年6月30日時点の残高	10,150	9,898	11,467	303	△1,415

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益累計額								
	確定給付制度の再測定	売却可能金融資産の公正価値の純変動	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額				
2018年1月1日時点の残高	△497	64	—	△21	△1,143	△1,598	28,570	1,551	30,122
会計方針の変更		△64	64				347	15	363
修正再表示後の残高	△497	—	64	△21	△1,143	△1,598	28,917	1,567	30,485
四半期利益						—	703	62	765
その他の包括利益	22		△24	27	△881	△856	△856	△48	△905
四半期包括利益合計	22	—	△24	27	△881	△856	△152	13	139
配当金						—	△881		△881
自己株式の取得						—	△0		△0
自己株式の処分						—	0		0
自己株式処分差損の振替						—	—		—
株式に基づく報酬取引						—	65		65
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—	—	△815	—	△815
2018年6月30日時点の残高	△475	—	39	6	△2,025	△2,455	27,949	1,580	29,530

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	その他資本性 金融商品	利益剰余金	新株予約権	自己株式
2019年1月1日時点の残高	10,150	9,898	5,000	12,385	180	△792
会計方針の変更				△586		
修正再表示後の残高	10,150	9,898	5,000	11,799	180	△792
四半期利益				118		
その他の包括利益						
四半期包括利益合計	—	—	—	118	—	—
配当金				△406		
その他資本性金融商品の所有者に対する分配				△100		
自己株式の取得						△0
自己株式の処分		△98		—	△40	139
自己株式処分差損の振替		98		△98		
株式に基づく報酬取引					57	
所有者との取引額合計	—	—	—	△605	16	139
2019年6月30日時点の残高	10,150	9,898	5,000	11,312	196	△653

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益累計額				合計			
	確定給付 制度の 再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額				
2019年1月1日時点の残高	△475	41	4	△2,564	△2,992	33,829	1,609	35,438
会計方針の変更						△586		△586
修正再表示後の残高	△475	41	4	△2,564	△2,992	33,242	1,609	34,851
四半期利益						118	△64	54
その他の包括利益	12	△0	△97	△714	△799	△799	△40	△839
四半期包括利益合計	12	△0	△97	△714	△799	△680	△104	△785
配当金						△406		△406
その他資本性金融商品の所有者に対する分配						△100		△100
自己株式の取得						△0		△0
自己株式の処分						0		0
自己株式処分差損の振替						—		—
株式に基づく報酬取引						57		57
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—	△449	—	△449
2019年6月30日時点の残高	△462	41	△92	△3,279	△3,792	32,112	1,504	33,616

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,223	445
減価償却費及び償却費	1,853	2,599
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	336	602
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△25	△20
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	582	791
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,159	917
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	390	△409
その他	△247	461
小計	2,941	5,378
利息及び配当金の受取額	11	10
利息の支払額	△337	△579
法人所得税の支払額	△88	△326
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,527	4,483
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,880	△3,248
有形固定資産の売却による収入	122	109
無形資産の取得による支出	△493	△428
子会社株式取得に伴う支出	△5,991	—
その他	△0	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,243	△3,571

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の純増減額 (△は減少)	10,630	1,409
長期借入れによる収入	4,194	1,372
長期借入金の返済による支出	△6,784	△1,505
社債の償還による支出	△60	—
配当金の支払額	△879	△405
その他資本性金融商品の所有者に対する分配の支払額	—	△98
リース債務返済による支出	△48	△473
その他	2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,055	297
現金及び現金同等物に係る換算差額	△204	△131
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△864	1,077
現金及び現金同等物の期首残高	5,375	4,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,511	5,175

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースに関する会計処理の改訂

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。